

にほんごをまなぼう 14 指導案(例) きゅうしょく

学 齢	小1~中3	テキスト	にほんごをまなぼう1
学 習 者	通級が始まっていれば給食については語彙と注意事項をメインに。 通級が始まっていない生徒には、イ形容詞をメインに。始まったら詳しく指導。混合の場合は、知っている生徒が率先してモデルをするように誘導する		
備 考	2~3名 漢字圏・非漢字圏		

学習目標
1) 日本の給食についてビデオ、絵カード(紙芝居)などを見る 2) 給食当番があり生徒自身が給仕する習慣だということを理解してもらう 3) 並ぶこと、役割があることなどを理解してもらう 4) おいしい、楽しい給食という期待の気持ちを大切にす できれば通級する学校給食の流れを確認(給食後に掃除や読書の時間がある、机の配置、ナプキンなど)

内容	目的
導入	
T 学校給食のビデオ、紙芝居を見せる その後、机に具体物を並べ、呼称を練習する 「トレー(お盆)、スプーン、はし...」	
展開	
メニューと絵カード、P47の味覚の形容詞を使って 「私はカレーが好きです」 「カレーはおいしいです」 「チョコレートは甘いです」 などの発話を誘導していく 「お腹がすいています」「お腹ぺこぺこ」 ↓食べる、飲むジェスチャー 「おなかがいっぱいです」 P46を輪読する。状況がわかればよい。 給食の流れと、「おかわり」「少し」の理解 「いただきます」「ごちそうさまでした」	通級が始まっていたら「おかわり」「少しく ださい」「残します」ということばが言える ように。 給食の時間に問題がないか生徒の発言 にも注意する 元気のない子どもには、好きな食べ物の 話で会話を発展させる。
休憩	
2 時間目: 文字	

文字	
<p>食べ物の名前をディクテーションする チョコレートなどのカタカナ語を導入し、50音表を見ながらゆっくり一緒に書いてみる。 「給食当番のしごと」を読む</p> <p>カタカナ練習帳(宿題チェック)</p>	
<p>まとめ</p> <p>プリントを配る。(宿題)</p>	

きゅうしょくとうばん
給食当番の しごと

まず、きれいに 手を ^てあらいます。

それから 当番が ^{とうばん}ワゴンを とりにいきます。

さらを ならべます。

パンを くばります。

おかずを よそいます。

みんなで ^{たの}楽しく ^た食べます。

おわたたら さらを かたづけます。